

# ごみ分別アプリ無料配信中！

## 収集日程表

お住まいの地域を設定すると、いつでもホーム画面で収集日の確認ができます！



## 分別辞典

分別が分からないものがあつたら、検索窓に入力してください。品目ごとのごみの出し方が検索できます！



検索したい品目を入力！

## お知らせ機能

荒天時の収集状況やごみに関する情報をお知らせします！



## アラート機能

当日の収集区分を通知してくれるため、ごみの出し忘れを防止できます！  
また、通知の時間は利用者のライフスタイルに合わせて変更が可能！



## ダウンロード方法

- ① 右記のQRコードを読み取り、ダウンロードする。
- ② 「App Store」又は「Google play」で「武蔵村山市ごみ分別アプリ」と検索し、ダウンロードする。

iPhone



Android



# ペットボトルの出し方が変わりました！

ペットボトルは、幅広いリサイクルが進むようになり、品質の向上が求められるようになりました。このため、平成29年6月1日から「必ずラベルを外す」のルールを新たに追加いたしましたので、分別に御協力をお願いします。なお、外したキャップ及びラベルについては、「容器包装プラスチック・ペットボトル」の日にお出してください。



- ① キャップ・ラベルを外す
- ② ペットボトルを潰す



三種類に分別！  
「ペットボトル・ラベル・キャップ」



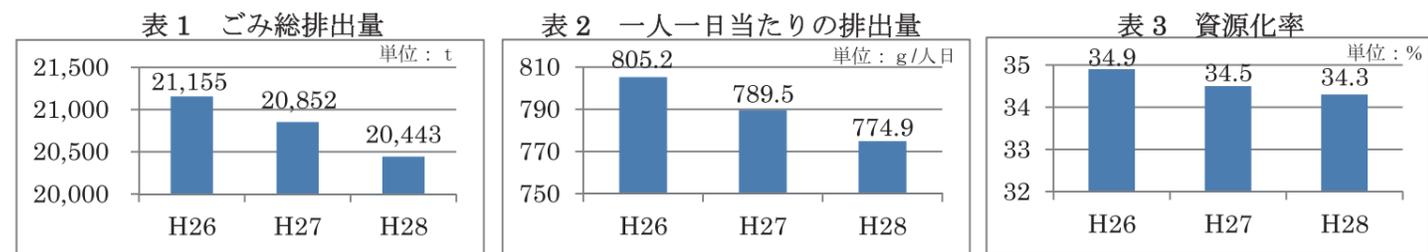
# ごみ情報誌 Vol. 21 平成30年2月発行 Let's Recycle! むさしむらやま

## 平成28年度武蔵村山市ごみ処理の状況

御協力ありがとうございます！  
皆様のおかげでごみ総排出量約409t減少！

- ① ごみ総排出量：20,443t
- ② 一人一日当たりの排出量：774.9g/人日  
(多摩地域26市中17位)
- ③ 資源化率：34.3% (多摩地域26市中22位)

平成28年度のごみ総排出量は、市民の皆様のご協力により近年減少傾向にあります。(表1)  
また、一人一日当たりの排出量についても、昨年度比約14.6g減少しています。(表2)  
資源化率は、昨年度比0.2ポイント減少しており、ほぼ横ばいではあるものの、若干の減少傾向となっているため、更なる資源化が必要となります。(表3)



## 平成28年度ごみ処理経費

ごみを処理するにはお金がかかります。平成28年度実績は、1t当たり56,969円、1世帯当たりでは37,467円、1人当たり経費では年間16,114円かかっています。(表4)

表4 平成28年度実績

世帯数(世帯)	人口(人)	総排出量(t)	決算額(千円)		1t当たりの経費(円)	一世帯当たりの経費(円)	一人当たりの経費(円)
			清掃総務費	塵芥処理費			
31,084	72,275	20,443	82,793	1,081,832	56,969	37,467	16,114
			合計	1,164,625			

※人口及び世帯数は、平成29年3月31日の数値

## ごみ分別アプリ配信中！

収集日や分別方法などが、スマートフォンでいつでも確認できます。右記QRコード又は「武蔵村山市ごみ分別アプリ」で検索してダウンロード！

iPhone



Android



# 「雑紙(ざつがみ)」ってなんだろう？

雑紙(ざつがみ)とは、**新聞紙・雑誌・段ボール・紙パック(牛乳パック等)以外のリサイクルできる紙**のことです。家庭ごみ組成分析調査の結果では、新聞紙等の紙資源に比べて、雑紙(ざつがみ)が可燃ごみに多く混入しています。主な雑紙(ざつがみ)とリサイクル出来ない紙を紹介いたしますので、分別に御協力をお願いします。

## 主な雑紙

収集日：毎週1回水曜日 古紙等

折込チラシ



ハガキ・ダイレクトメール



コピー用紙



お菓子等の包装紙



ノート



ティッシュ等の紙箱



紙袋



トイレットペーパーの芯



カレンダー



封筒



※ ティッシュ箱・写真アルバムに付いているビニールやファイル・カレンダーについている金具は取り外してください。

## リサイクル出来ない紙

収集日：毎週2回 可燃ごみ

アルミコーティングの紙



防水加工された紙



カーボン紙・ノンカーボン紙



写真



シール



線香等の匂いがついた紙



レシート等の感熱紙



食品等で汚れている紙



その他：感熱性発泡紙(点字印刷物等)・圧着はがき(親展はがき)・ビニール加工された紙袋など

# 食品ロス・生ごみの減量

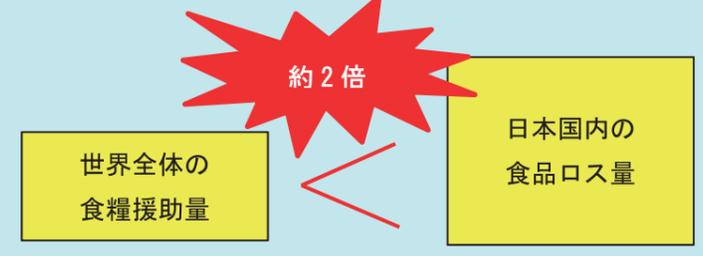
## 食品ロスとは？

食品ロスとは、食べられるのに廃棄されている食品のことです。日本の食品ロスは、約621万トンと試算されており、国連WFPによる**世界全体の食糧援助量の約2倍**に相当します。また、食品ロスのうち、約282万トンが家庭から排出されるもので、日本人一人当たりで換算すると、「お茶碗約1杯分(約134g)」が毎日捨てられている計算になります。

## 武蔵村山市の現状

平成28年度に実施した家庭ごみ組成分析調査によると、家庭から排出される可燃ごみの中には、消費期限・賞味期限切れなどの食品ロス(未利用食品)が約4.3%、水分を多く含む食べ残しなどの生ごみが約42.8%を占めています。食品ロス(未利用食品)や生ごみを減らすことで可燃ごみを減量することができます！なお、市では、生ごみ処理機器を購入し、生ごみの減量に御協力いただけるかたに対して、購入費の一部を補助しています。食品ロス及び生ごみの減量に御協力をお願いします！

可燃ごみに含まれていた食品ロス(未利用食品)



## 家庭でできる食品ロス・生ごみ減量作戦！

- ① 買い物に行く前は冷蔵庫をチェック！買いすぎないように気を付けましょう！  
ポイント：携帯電話やスマートフォンで撮影した画像が有効！
- ② 消費期限や賞味期限をしっかりとチェック！食材を使い切るようにしましょう！  
ポイント：消費期限は、「食べても安全な期限」、賞味期限は、「おいしく食べることが出来る期限」  
賞味期限は、過ぎてもすぐに廃棄せず、自分で食べられるかどうか判断することも大切です。
- ③ フードドライブを活用！  
フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、福祉団体や(※)フードバンクに寄付する活動のことです。今後もデエダラ祭り会場内でフードドライブを実施してまいりますので、ぜひご活用ください！  
※フードバンクとは、まだ食べられるのに、さまざまな理由で処分されてしまう食品を食べ物に困っている人や、施設に届ける活動のことです。
- ④ 食事は食べ切るようにしましょう！  
ポイント：食事を食べ切れる分だけ作ることも重要！
- ⑤ 生ごみの水切りを徹底しましょう！
- ⑥ 生ごみ処理機器を活用しましょう！



## 生ごみ処理機器購入補助制度

生ごみ処理機器とは、生ごみを乾燥させたり、微生物により分解処理する機器のことです。一部対象外の機種もありますので、詳細はHPを確認するか、ごみ対策課まで問い合わせをお願いします。

★補助対象額★

購入金額の2分の1(処理能力10kg/日以上の場合は、上限30万円・10kg/日未満の場合は、上限4万円)

※申請に必要なもの等詳細は、HPを御確認ください。